

## ○ 社会人大学院生への対応状況

入学者選抜の方法の項で述べているように、社会人入試制度を設けている。

勤務時間及び勤務地を考慮し、通学条件の良いサテライトキャンパスでの夜間開講が実施されているほか、一部の科目においては双方向のテレビ会議システムを利用した遠隔講義も行われている。また、休日の研究指導、テレビ会議システムを利用した研究中間発表会も実施されている。また、研究テーマは学位取得後、研究成果を実務に反映させたり、臨床研究の発展に繋がるよう配慮している。

経済的支援策としては、リサーチアシスタントへの採用、長期履修制度、各種の奨学金制度を設置している。

### 《点検・評価》

社会人学生がその専門分野、経験ならびに就業状況に応じて入学できるよう、入試制度が整えられている。また、入学後も、個々人の状況に応じて、円滑に研究、学修できるよう、様々な配慮を行っている。また、本学学部卒業生及び提携機関に所属する社会人学生向けの奨学金により、実質的に授業料が減免になるなど、経済的な支援も充実している。一方、現時点で長期履修制度の利用者はいない。

平成28年度以降社会人の入学がないことから、学会誌、学術集会等を通じた広報活動を充実させる必要がある。また、主に経済的理由によって退学した社会人学生があったことから、更なる経済支援策の拡充が望まれる。

- ・入学者選抜や入学後の履修における社会人への対応状況について、自己点検・評価(工夫や今後の課題を含む)を行うこと